

われわれの友へ

不可視委員会著 HAPAX訳

ISBN978-4-906944-07-1 C0010 新書サイズ 256頁 本体1500円+税
(フランス現代思想、政治哲学、アナーキズム)

前著『来たるべき蜂起』からのこの7年は、惑星規模での蜂起の共鳴がおこりつつも、蜂起鎮圧、そしてファシズムの勢力拡大といった反動のうずまく激動の時代でもありました。

『われわれの友へ』(A nos amis, Comite invisible, 2014 原文は仏語)は、そのような時代背景を踏まえ、「八カ国語、四大陸で同時的に刊行」というプロジェクトとして世界中の、「革命的な力をつくりだそうとする」人々に向けて書かれています。

前著に続き、その内容に同意する人にはもちろん、しない人にも必読の書となるでしょう。

目次

- メリー・クライシス・アンド・ハッピー・ニュー・フィヤ
- やつらは統治を背負わせようとする、われわれはその挑発にはのらない
- 権力とはロジスティクスである。すべてを遮断せよ!
- ファック・オブ・ゲーグル
- あとをくらませ
- われわれの唯一の故郷、幼年期
- オムニア・スント・コムニア
- 今日のリビア、明日のウォールストリート

不可視委員会

日本での翻訳出版としては『来たるべき蜂起』(彩流社、2010年)、ティクーン名義での『反一装置論:新しいラダイト的直観の到来』(以文社、2012年)がある。また、雑誌「VOL」「HAPAX」に断片的な翻訳紹介がされている。

『来たるべき蜂起』は文字通り出版自体が事件であった。特に全米で爆発的な売上を記録し、20ヶ国以上で翻訳出版された世界的なベストセラーである。

また、『HAPAX』では、この歴史的な出版に合わせてまるごと1冊、『われわれの友へ』を特集します。

HAPAX(ハパックス)vol.5

特集『われわれの友へ』

ISBN978-4-906944-08-8 C0010 四六判変型 124頁 本体900円+税

- HAPAX
コミュニケーション主義とは何か?
- 李珍景
革命のシャーマンたちが呼び出したものたち
- 友常勉
日本からの手紙——terrestitudeのために
- 反一都市連盟びわ湖支部
都市を終わらせる——資本主義、文化、ミトコンドリア
- チョッケツ東アジア by 東アジア拒日非武装戦線
「われわれの友へ」、世界反革命勢力後方からの注釈
- 堀千晶
壁を猛り狂わせる
- 中村隆之
隷属への否——不可視委員会とともに
- 入江公康
コミュニケーションのテオクリトスたちによせて
- 鼠研究会
永山則夫について
- 『ランディ・マタン』誌論説
真の戦争

▶ご注文はツバメ出版流通まで **FAX: 03-3721-1922** TEL:03-6715-6121 mail:info@tsubamebook.com

貴店名(番線印)	新刊(2016年1月) 夜光社		返品条件付注文扱い	返品了解	ツバメ出版流通:川人
	われわれの友へ 不可視委員会著 HAPAX訳				
ご担当: 様	冊	ISBN978-4-906944-07-1 新書サイズ 本体1500円			

貴店名(番線印)	新刊(2016年1月) 夜光社		返品条件付注文扱い	返品了解	ツバメ出版流通:川人				
	HAPAX(ハパックス)vol.5 特集『われわれの友へ』								
ご担当: 様	冊	ISBN978-4-906944-08-8 四六判変型 本体900円							
	バックナンバーのご注文はこちらへ								
	HAPAX vol.1	冊	HAPAX vol.2	冊	HAPAX vol.3	冊	HAPAX vol.4	冊	HAPAX vol.6以降定期